

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 12月
令和5年12月1日の推計人口 1,265,037人
世帯数 558,564世帯
参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和5年12月1日現在の推計人口は、1,265,037人で、前月(1,265,904)に比べ867人の減少となった。

市部では、大村市(28)の1市で増加し、長崎市(△302)、佐世保市(△134)、諫早市(△64)、壱岐市(△46)、五島市(△41)、雲仙市(△39)、南島原市(△39)、対馬市(△33)、松浦市(△26)、島原市(△22)、平戸市(△21)、西海市(△17)の12市で減少した。

郡部では、時津町(2)の1町で増加し、新上五島町(△34)、波佐見町(△29)、川棚町(△21)、佐々町(△19)、小値賀町(△4)、長与町(△3)、東彼杵町(△3)の7町で減少した。

自然動態は、出生数620人、死亡数1,582人で962人の減少、社会動態は、転入者数2,474人(県内転入を含む)、転出者2,379人(県内転出を含む)で、95人の増加となった。

2 世帯数

令和5年12月1日現在の世帯数は、558,564世帯で前月(558,451)に比べ113世帯の増加となった。

(注)

・異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 10月
1人当たり現金給与総額 249,510円
対前月比 1.5%増加
対前年同月比 3.1%増加

1 賃金

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は249,510円で、前月に比べ1.5%増加し、前年同月に比べ3.1%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は245,054円で、前月に比べ1.6%増加し、前年同月に比べ2.1%増加した。

特別給与額は4,456円で、前年同月に比べ、2,250円増加した。

2 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は144.7時間で、前月に比べ0.5%減少し、前年同月に比べ0.2%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は134.0時間で前月に比べ0.3%減少し、前年同月と比べ、0.5%増加した。

所定外労働時間数は10.7時間で、前月に比べ2.7%減少、前年同月に比べ7.7%減少した。

3 雇用

10月の常用労働者数は204,648人で、前月に比べ、2.6%減少し、前年同月に比べ3.8%減少した。

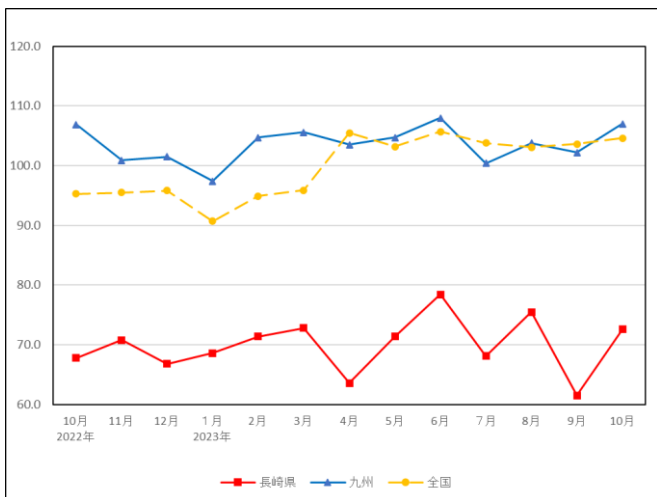
【鉱工業生産指数】……………10月

令和5年10月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	調整指数	前月比(%)		
長崎県	72.6	18.0	72.3	4.6
九州	107.0	4.5	110.5	1.9
全国	104.6	1.0	106.3	0.9

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



2023年10月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が72.6で対前月比は18.0%の上昇、原指数は72.3で対前年同月比は4.6%の上昇となった。

業種別にみると、輸送機械工業、繊維工業、電子部品・デバイス工業など8業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、窯業・土石製品工業など5業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
輸送機械工業	31.3	修繕船
繊維工業	29.6	漁網・陸上網
電子部品・デバイス工業	24.8	半導体集積回路

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	△13.0	蒸気タービンの部品・付属品
窯業・土石製品工業	△2.6	生コンクリート

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………11月

総合指数(R2=100)

106.8

対前月比

0.3%下落

対前年同月比

2.7%上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、106.8である。

前月比0.3%の下落で、主な上昇要因は「被服及び履物」が2.8%上昇、「家具・家事用品」が0.5%の上昇であった。

主な下落要因は「食料」が0.8%の下落、「交通・通信」が0.6%の下落であった。

前年同月比は、7月は3.3%上昇、8月は3.4%上昇、9月は2.9%上昇、10月は3.2%上昇と推移した後、11月は2.7%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は106.2で前月比0.1%の下落であり、前年同月比は2.5%の上昇であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

被服及び履物	2.8%
家具・家事用品	0.5%

同水準の費目

教 育	±0.0%
諸 雑 費	±0.0%

▽下落した費目

食 料	△0.8%
交 通 ・ 通 信	△0.6%
教 養 娯 楽	△0.4%
光 熱 ・ 水 道	△0.3%
住 居	△0.2%
保 健 医 療	△0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………11月

消費支出(一世帯当たり)

325,069円

前月比

42,630円増加(15.1%)

令和5年11月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は325,069円で、前月比15.1%の増加、前年同月比は0.3%の減少であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は82.6%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。